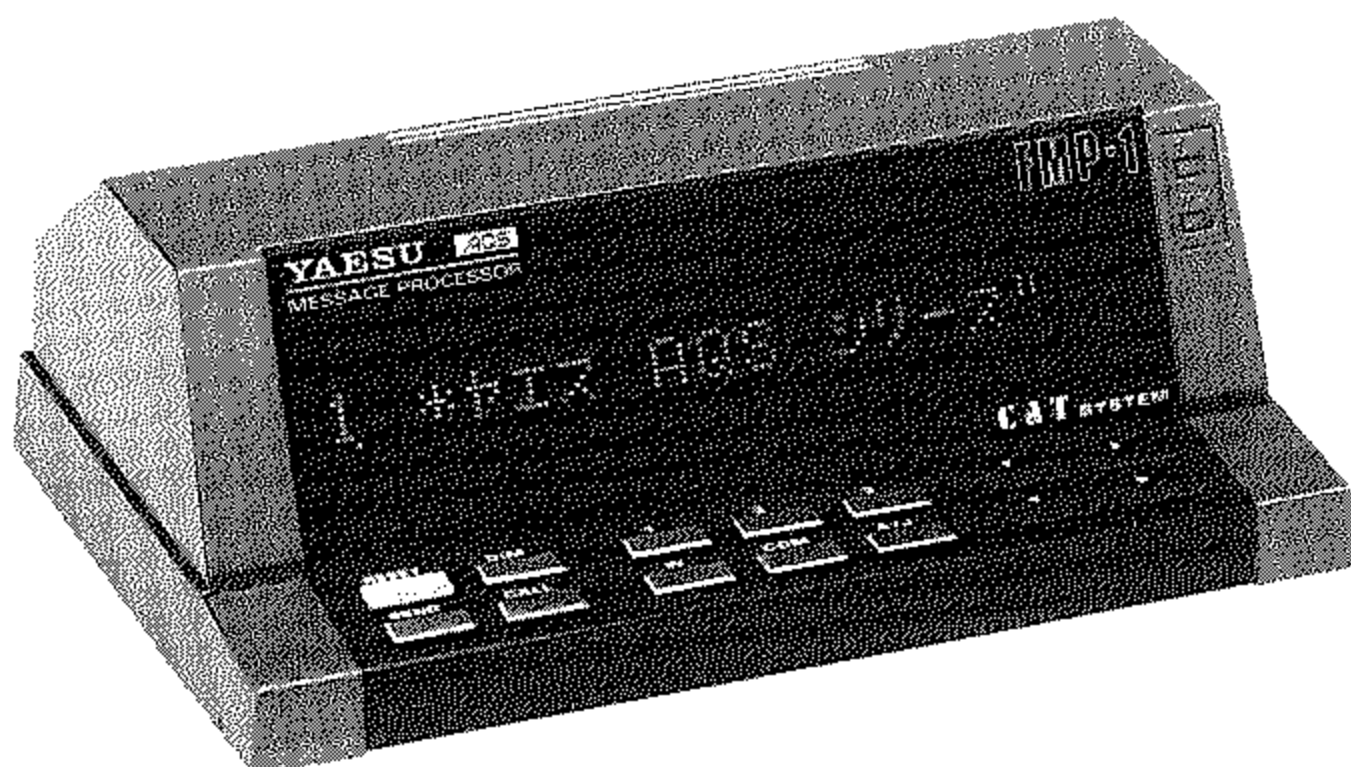


# 取扱説明書

## FMP-1



**AQS**



八重洲無線株式会社

このたびは YAESU メッセージプロセッサ FMP-1 をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございます。

本製品は厳しい品質管理のもとに生産されておりますが、万一運搬中の事故などにもない、破損またはご不審な箇所がございましたら、お早めにお買い上げいただきましたお店または最寄りの当社営業所サービスにお問い合わせください。

### ●お願い

正しい操作方法をご理解いただくために、お手数でも取扱説明書は最後までお読みくださるようお願いいたします。操作方法に誤りがあると、本製品の性能が十分に発揮できないばかりでなく、思わぬトラブルや故障の原因になることがあります。

操作方法の誤りが原因で故障を生じた場合は保証期間中でも有償扱いにさせていただきますのでご注意ください。

### ●アフターサービス

万一故障のときはお買い上げいただきました販売店、または最寄りの営業所サービスまで修理をご依頼ください。営業所サービスステーションの所在地、電話番号はこの取扱説明書のうら表紙に記載してあります。

①保証期間はお買い上げの日より1年です。くわしくは添付してある保証書をご覧ください。

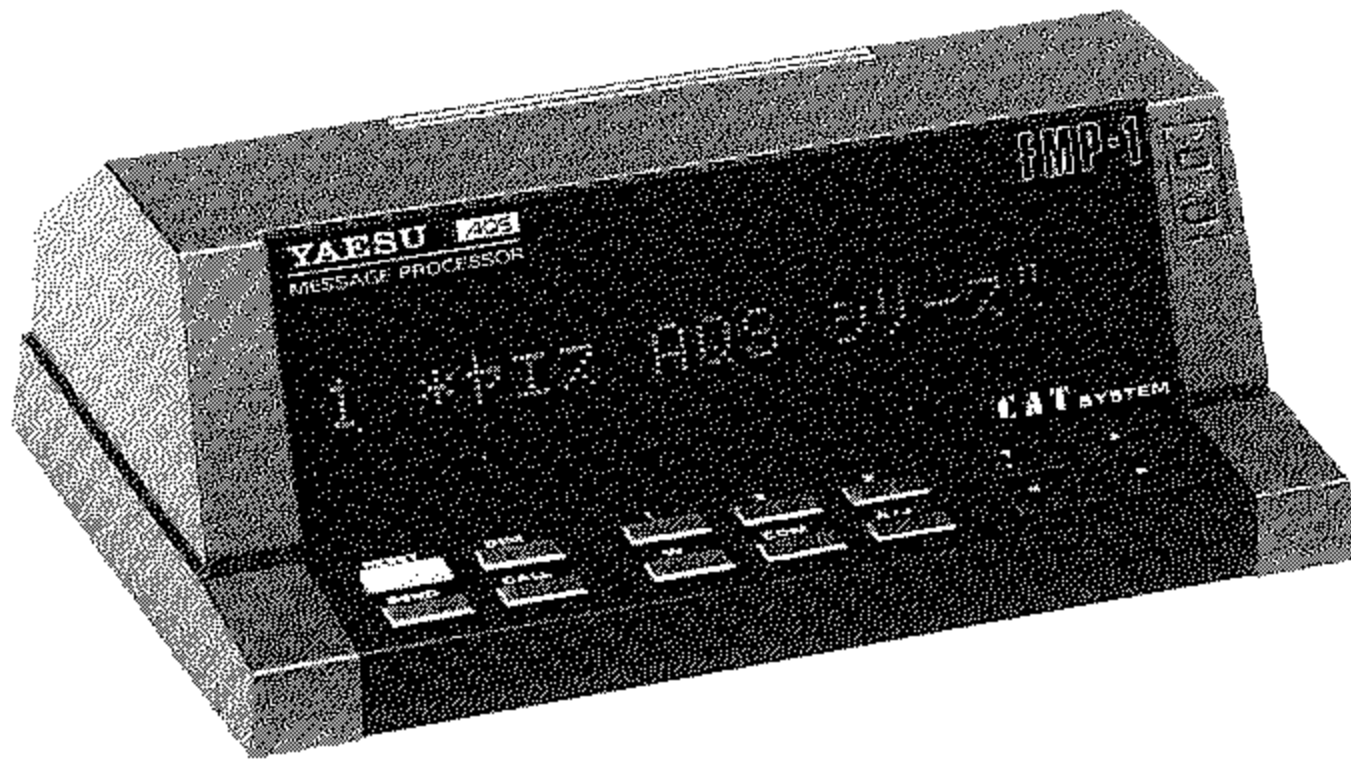
②保証期間を過ぎた修理の場合、部品代の他に規定の技術料をいただきます。

③不良部品を交換のため、部品だけをご希望になる場合には、お買い上げの販売店にお申し込みになるか、最寄りの営業所サービスステーションまでお申し込みください。

郵送をご希望のかたは現金書留をご利用ください。品物だけ先にお送りすることはできませんので、あらかじめご了承ください。

製品の改良のために、取扱説明書の写真などが一部製品と異なることがあります。あらかじめご了承ください。

# メッセージプロセッサ FMP-1



## ●多機能な FMP-1

ヤエス AQS シリーズの各機種に接続し、メッセージの送受、コールサインの表示、メモリーが可能です。

## ●8ビットマイクロコンピュータ搭載

新開発の CMOS8 ビットマイクロコンピュータの採用により多機能を実現しました。

## ●データメッセージに ASCII コード、JIS コードが可能

メッセージとして送受できる文字は ASCII 型式による英文字、数字、JIS 型式によるカタカナ文字、その他 ASCII、JIS による特殊文字が可能です。

## ●メモリー機能

受信したメッセージを 3 ステートメント (14文字 / 1 ステートメント) および、相手局のコールサインを 10 局分メモリーできます。またバックアップ機能により、メモリー内容を長期間保存できます。

## ●DATA OUT 端子

受信したメッセージとコールサインは、CAT システムにより、シリアルデータ化して出力されるので、パーソナルコンピュータとの接続により、ディスプレイおよびメモリーの拡張もできます。

## ●見やすい大型ディスプレイ採用

メッセージとコールサインの表示に、大型蛍光表示管 (16桁 5 × 7 ドット) を採用しました。

さらに、光度を切り換えるディマースイッチ付きです。

# 目 次

	ページ
付 属 品	2
各部の操作と接続	3
ご使用の前に	6
接続方法	6
バックアップ電池	7
モバイルブラケットの取り付け	7
使 用 方 法	9
準 備	9
コールサインおよびメッセージの受信操作	9
メモリー内容の見かた	10
メモリーの消去	10
送信メッセージの書き込み(書き替え)操作	12
送信メッセージの送り出し操作	16
外部コンピュータへのデータアウト操作	17
定 格	18
ご 注 意	19
故障?と思う前に	20

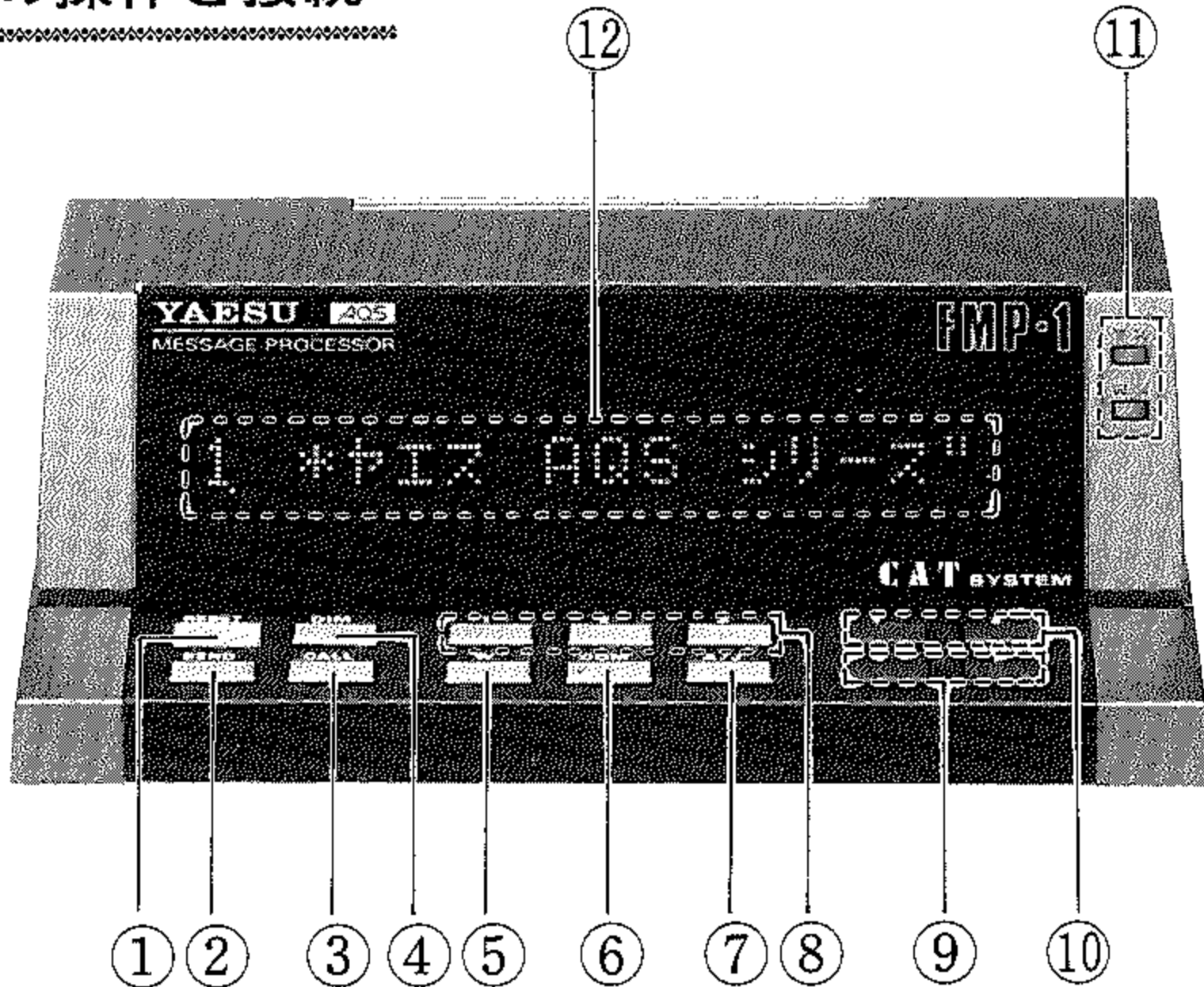
## 付 属 品

下記のものが付属していますので一つ一つ付属品をお確かめください。

モバイルブラケット	1 式
取り付けネジ(C910003)	1 式
ゴム(R7112650)	4 個
ナベコネジ(U02406007)	2 個
ヒラザガネ(U70004007)	2 個
保証書	1 枚
取扱説明書	1 冊

※取扱説明書、保証書は大切に保存してください。

## 各部の操作と接続



### ① RESET

ディスプレイの表示をクリアにし、初期状態にもどします。(ディスプレイに表示していたデータは、メモリーされています。)

### ② SEND

メッセージを相手局に送るときおよび、DATA OUT 端子より受信データを出力するときに操作するスイッチです。

### ③ CALL

コールサインデータを受信した順番に表示します。メモリーできる局数は10局分で、メモリーがオーバーフローすると初期データはDATA OUT 端子から出力された後に消え、メモリー内はスクロールして新しいコールサインデータをメモリーします。

### ④ DIM

ディスプレイの光度を切り換えるディマースイッチです。

⑤ W

送信メッセージの書き込み（書き替え）および、受信メモリーを消去するときに操作するスイッチです。

⑥ COM

受信したメッセージの内容を、ディスプレイに表示するスイッチです。

⑦ A/J

送信メッセージを書き込む（書き替える）とき使用する ASCII または、JIS のどちらかのコードを選択するスイッチです。

⑧ 1, 2, 3

送信メッセージの内容を呼び出すときや書き込む（書き替える）とき、または送り出すときに操作するスイッチです。

⑨ ◀, ▶

送信メッセージを書き込む（書き替える）とき、1回押すごとに点滅が、左または右へ1桁ずつ移動します。

⑩ ▼, ▲

送信メッセージを書き込む（書き替える）とき、1回押すごとに文字コードが1つずつダウンまたはアップします。

約0.5秒以上押し続けると、スイッチを押している間、1秒間に約10文字のスピードで文字が変わります。

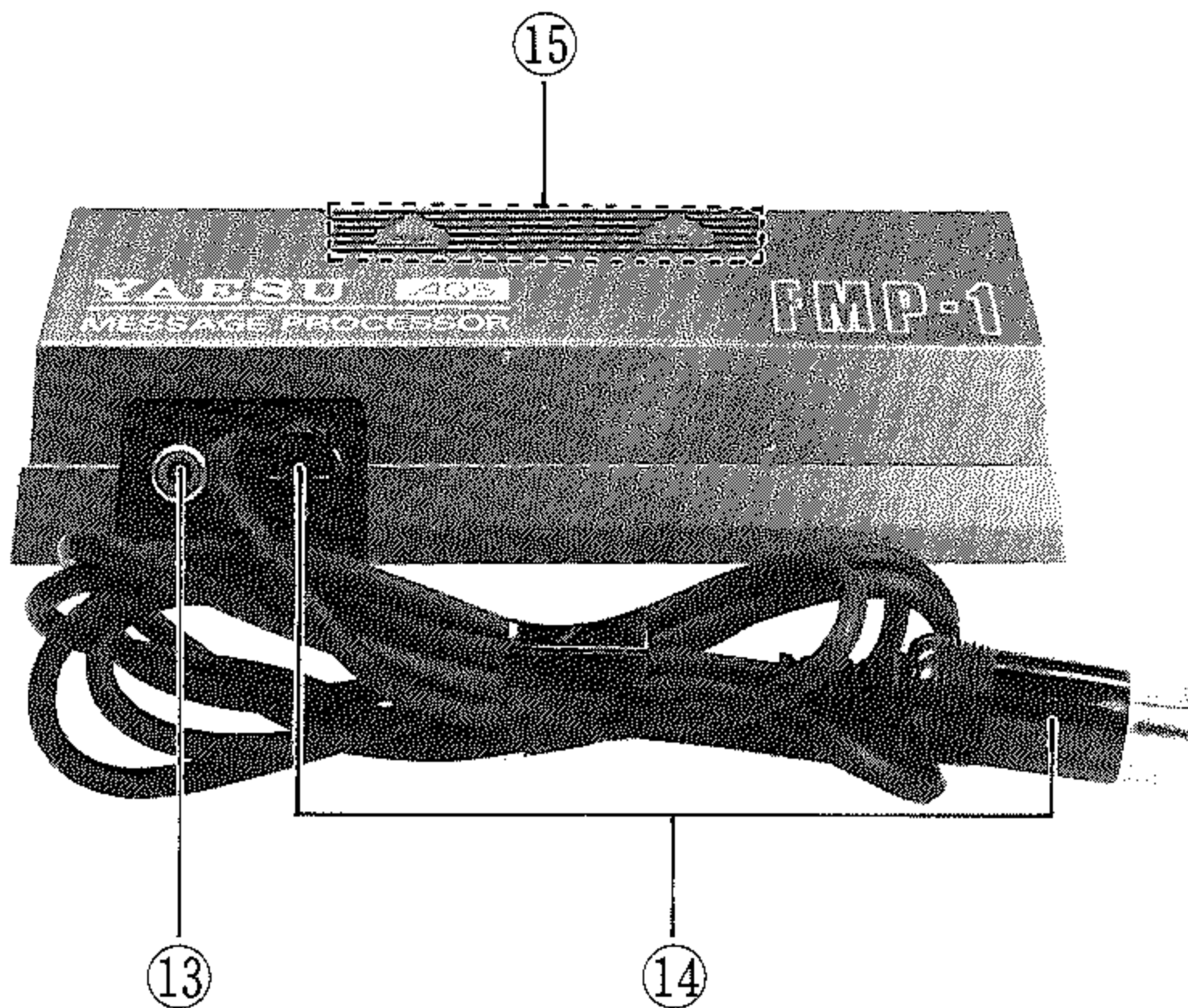
⑪ インジケータ

(1) TX

送信操作および、動作をしている間点灯するインジケータです。

(2) RX

メッセージやコールサインを受信したときに点灯するインジケータです。



⑫ ディスプレイ

16桁5×7ドットの大型蛍光表示管です。

⑬ DATA OUT 端子

受信したコールサインやメッセージを、シリアル信号で出力する端子です。

⑭ AQS ジャック

お手持ちの AQS トランシーバーと接続するジャックです。

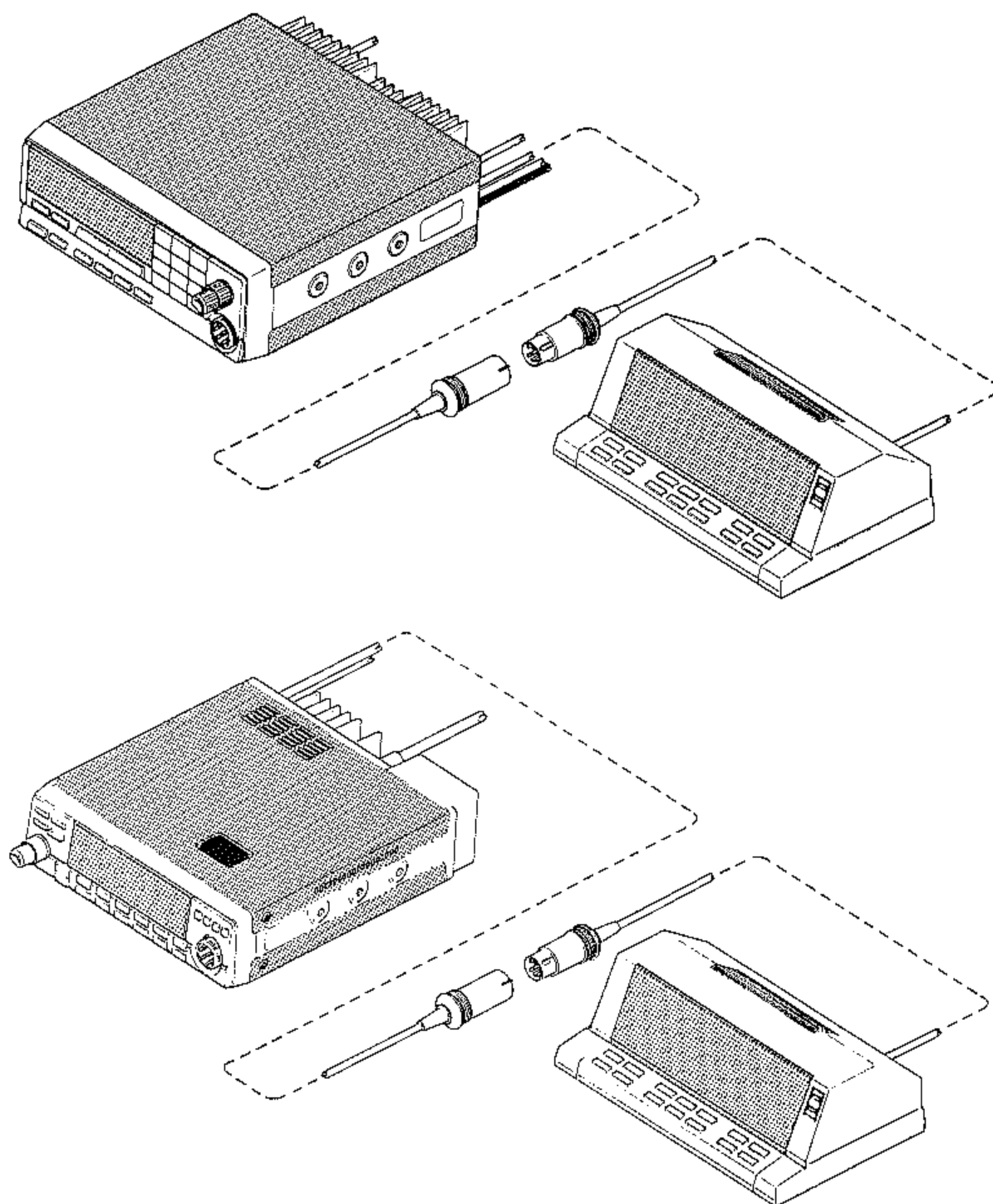
⑮ 電池ボックス

バックアップ用電池ボックスで単四型乾電池を3本収納します。

\*\*\*\*\*  
**ご使用の前に (注意事項)**  
\*\*\*\*\*

## 接続方法

第1図を参考に、AQS トランシーバーの AQS/CAT ジャックと、FMP-1の AQS ジャックを接続します。このジャックを接続するだけで、トランシーバーから電源をON,OFF でき簡単に運用することができます。なお、接続する際にはかならずトランシーバーの電源は OFF の状態で行ってください。



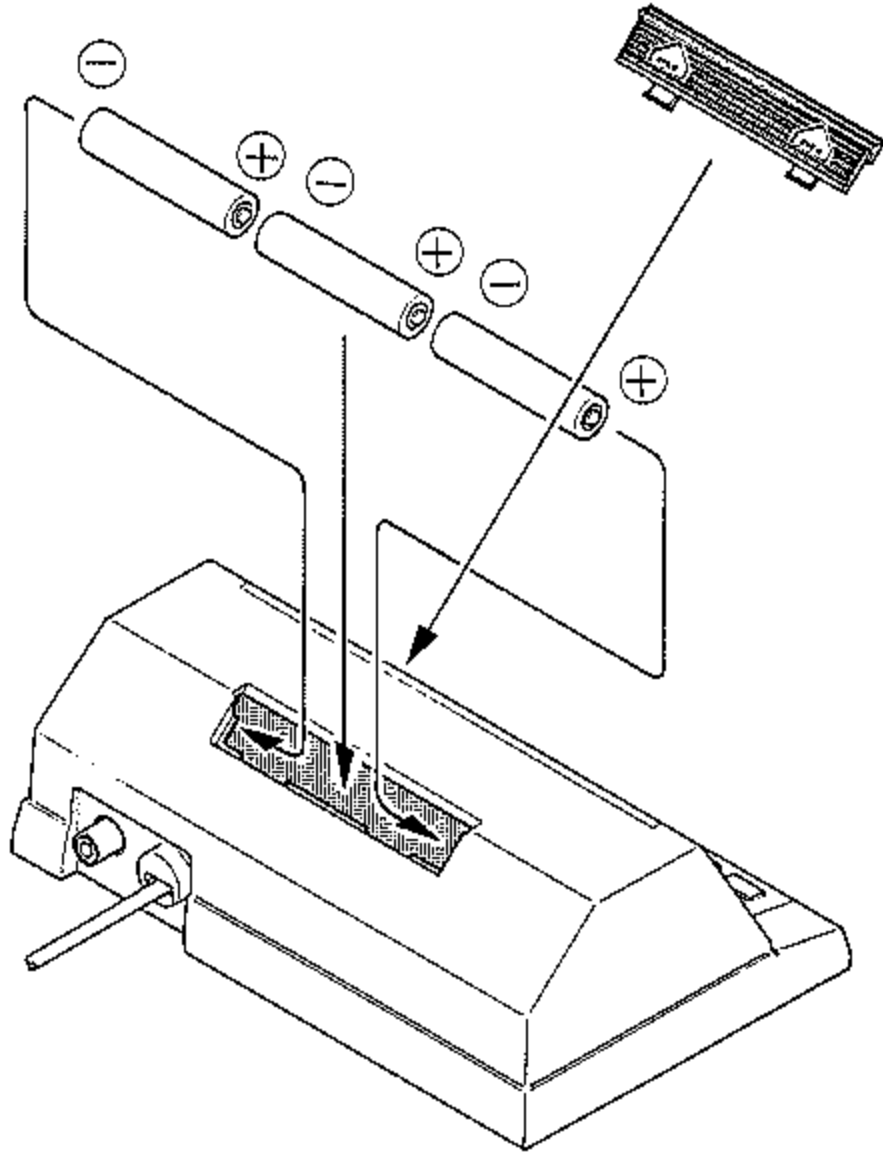
第1図



## バックアップ電池

本機は電源を外しても、長期間メモリー等 CPU の内容を記憶し続ける、バックアップ機能を備えています。

バックアップ用電池は、単四型公称電圧1.5Vの、一般用乾電池3本を挿入します。電池の挿入方法は、下図を参考にして、一の方向をまちがえないように入れてください。



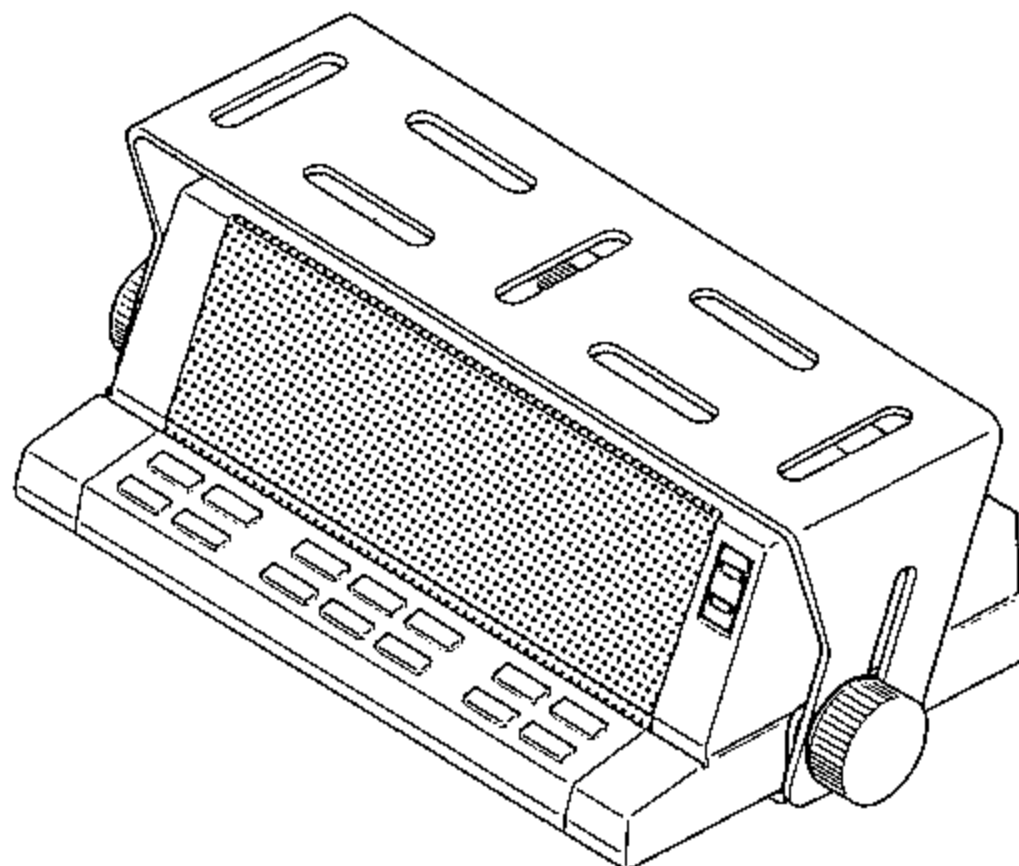
ディスプレイに無関係な表示をして正常な動作をしない場合には、次の手順でバックアップ電池を入れなおしてください。

1. 接続してあるトランシーバーの電源を“OFF”にします。
2. FMP-1のバックアップ電池を入れなおします。
3. トランシーバーの電源を“ON”にします。

以上で正常な動作にもどります。

## モバイルブラケットの取り付け

FMP-1には取り付け、取り外しが大変簡単に行える様に、設計されたモバイルブラケットが付属しています。

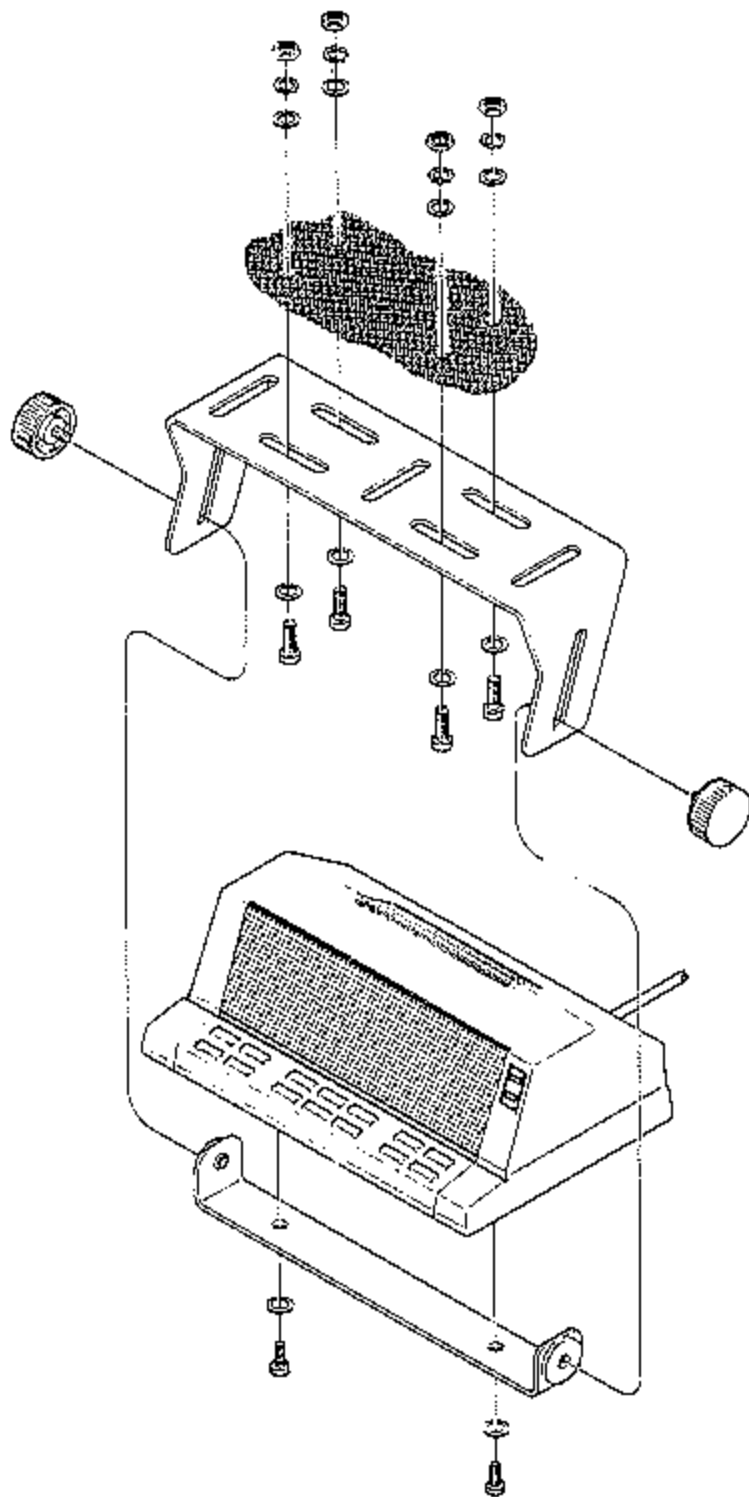


## 車載時の注意事項

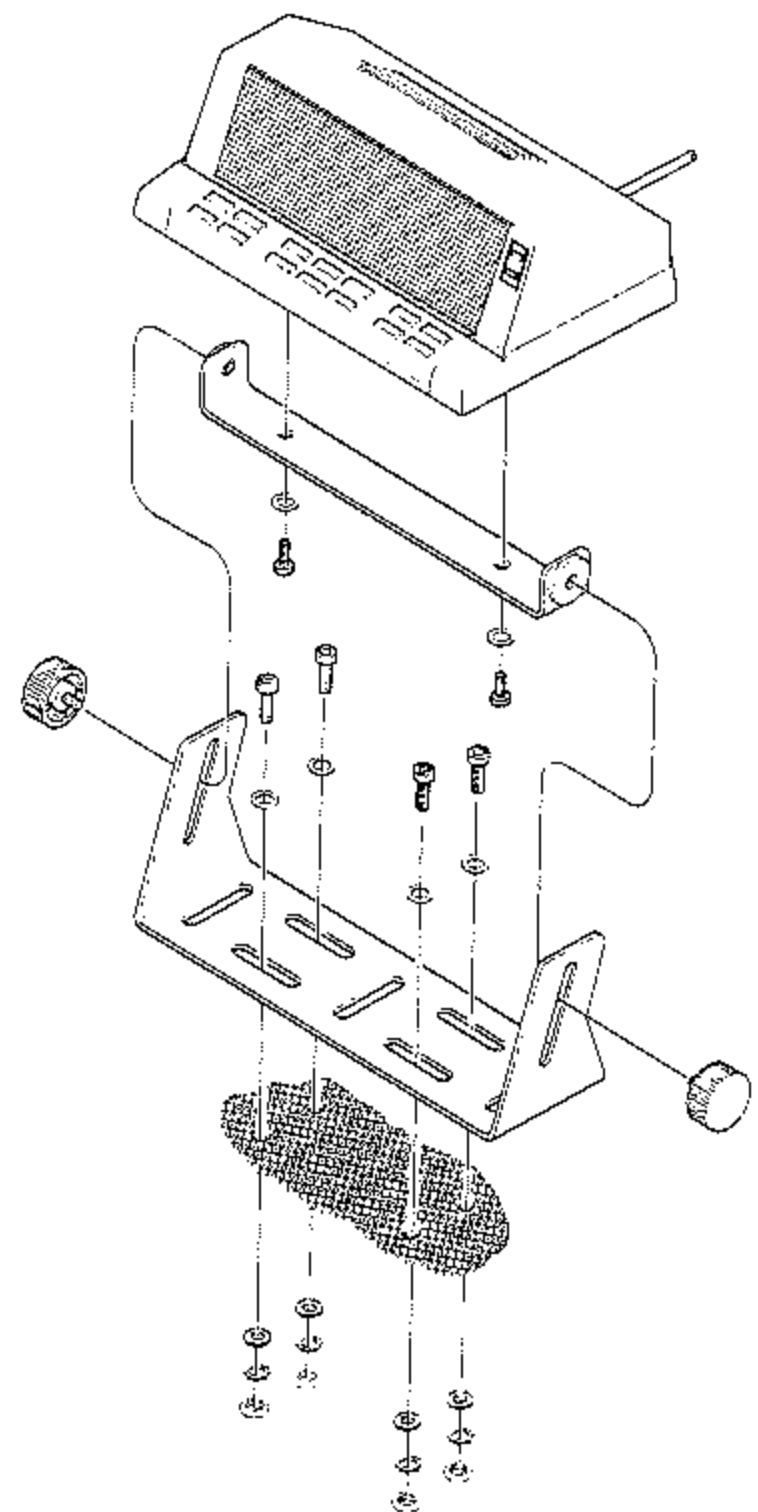
- FMP-1の取り付け場所は、運転に支障のないよう、安全と操作性を考えてください。  
(急停車などを行った時の同乗者への危険防止にも配慮してください。)
- ヒーターからの熱風や直射日光などが、当たらない場所を選んでください。

## 取り付け方法

- (1) 取り付け場所が決まりましたら、モバイルブラケットを取り付け場所にあてて取り付け穴をあけます。(付属の両面テープを利用し仮止めすると、位置の設定が楽に行えます。)  
※取り付けネジは直径5mmですから、5.5mmから6mm程度の取り付け穴が必要です。
- (2) 第2図、第3図を参考に、モバイルブラケットを付属のビス、ワッシャ、ナットを使用して振動等でゆるまないようにしっかりと固定し、FMP-1を付属のつまみで取り付けます。



第2図



第3図

# 使 用 方

まず、“各部の操作と接続”など各部の説明と“ご使用前に”を良くお読みください。

これによって、各部の使い方と注意事項がお判りいただいたと思いますが、この項では実際にメッセージの送信、受信方法や書き込み方法などの操作を試みましょう。

## 準 備

- ① お手持ちのトランシーバーの電源スイッチが **OFF** になっていることを確認します。
- ② トランシーバーと **FMP-1** を接続します。(6)ページ第1図参照)
- ③ トランシーバーの電源スイッチを入れます。 **FMP-1** のディスプレイに“>”が点灯します。(初期状態)



## コールサインおよびメッセージの受信操作

初期状態で待機し、相手局からコールサインまたは、メッセージが送られてくるとディスプレイに表示します。

コールサインが送られたとき

JA1YOE/1

メッセージが送られたとき

CQ DE JA1YOE/1

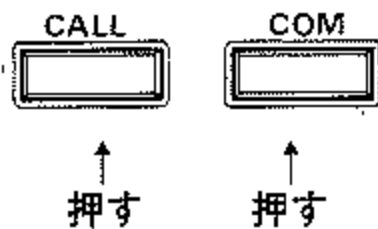
- 受信したコールサインおよび、メッセージは自動的にメモリーします。
- メッセージが送られてくると、コールサインは表示せず、メッセージを優先して表示します。

## メモリー内容の見かた

コールサインは10局まで、メッセージは3ステートメント（14文字/1ステートメント）まで記憶できます。メモリーがオーバーフローすると、初期データはDATA OUT 端子より出力されて消え、メモリー内はスクロールし、新しいコールサインデータまたは、メッセージをメモリーします。

(注) コールサインは、8文字中先頭の6文字で重複チェックをしています。重複したときはメモリーせず、最初にメモリーしたコールサインを表示します。

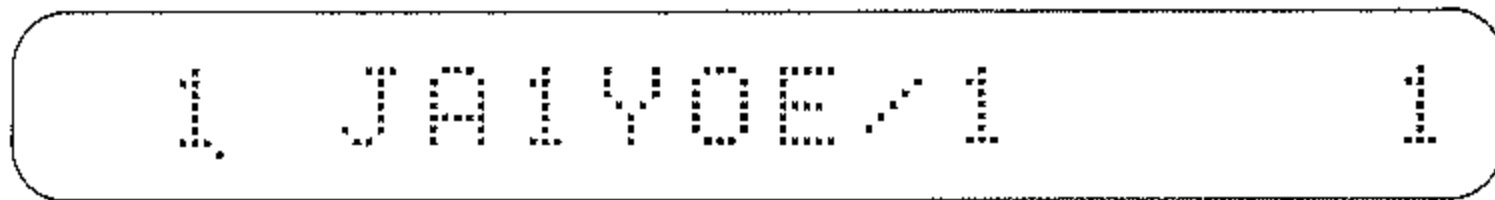
## メモリーの呼び出し



CALL または COM スイッチを押して呼び出します。

スイッチを押し続けると2CH/秒のスピードでメモリー内をスキャンします。

CALL スイッチを押した場合

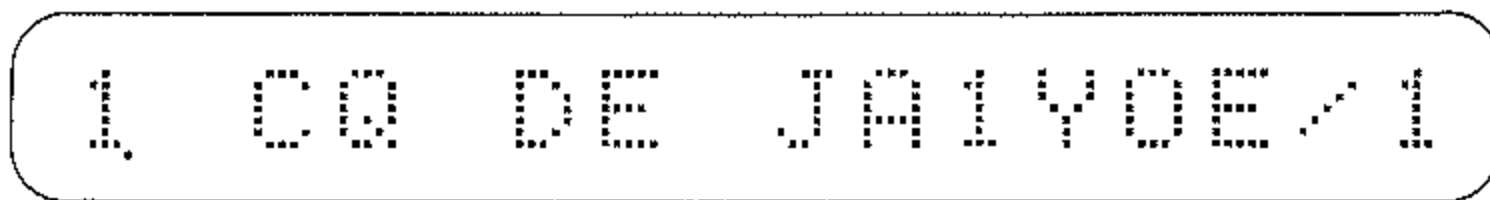


↑  
チャンネル

↑  
コールサイン

↑  
コールサインメモリーのトータル数


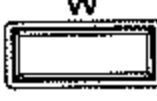
COM スイッチを押した場合






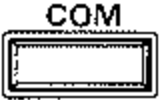
↑  
チャンネル



メッセージ





## メモリーの消去

- ①   スイッチを押します。
- ↑  
押す



- ②    または  スイッチを操作して、消去したいメモリーの内容を表示します。
- ↑      ↑  
押す    押す

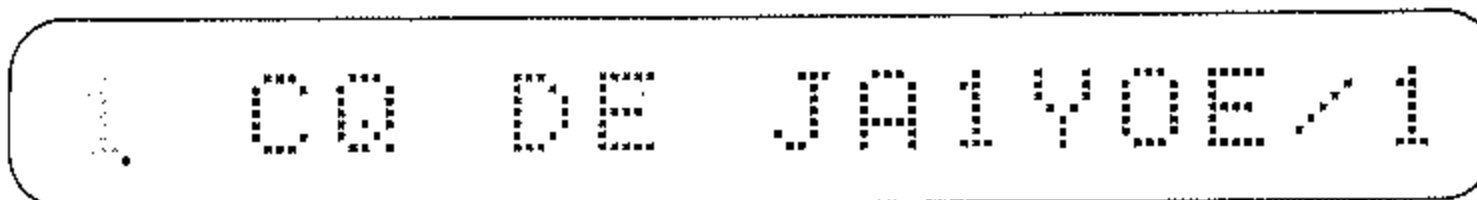
CALL または COM の内容が何もない場合は受け付けません。このときはもう一度  スイッチを押すか  スイッチを押して初期状態に戻してください。


注)  スイッチを押したあとの  スイッチや  スイッチを押したあとの  スイッチは受け付けません。

コールサインメモリーを消去する場合




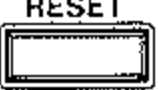
メッセージメモリーを消去する場合



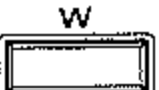
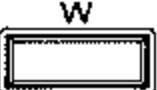
- ③  表示していたメモリーが消去され初期状態に戻ります。
- ↑  
押す

## 送信メッセージの書き込み（書き替え）操作

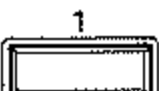
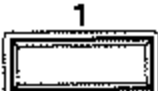
例として1CHに“YAESUアマチュアムセン”を書き込んでみましょう。

- ①   スイッチを押します。（初期状態）  
↑  
押す



- ②   スイッチを押します。（2桁目が点滅します。）  
↑  
押す







- ③  チャンネルを指定します。（1CHの場合は  スイッチを押します。）  
↑  
押す





押したスイッチのチャンネルを1桁目に表示し、3桁目が点滅します。

注) 指定したチャンネルに、すでにメッセージが書き込まれていると、その内容を表示します。











- ④    ,  スイッチを操作して“Y”を表示させます。  
↑      ↑  
押す    押す



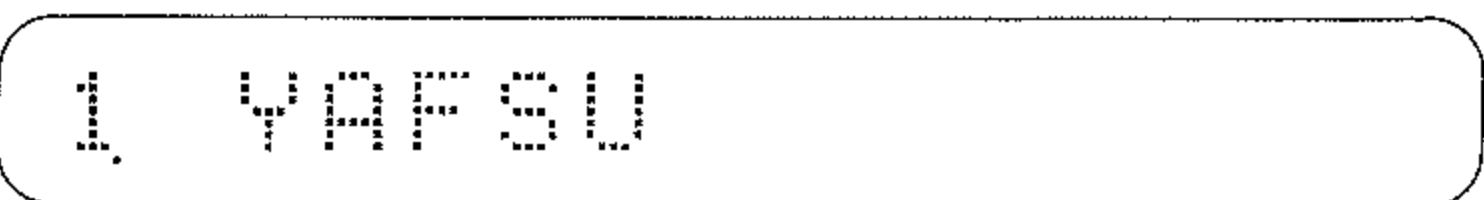
- ⑤     スイッチを1回押します。
- ↑  
押す







- ⑥       ,   スイッチを操作して“A”を表示させます。
- ↑      ↑  
押す    押す

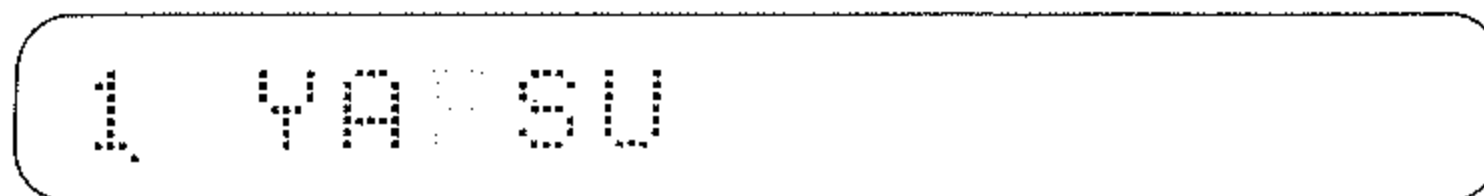






⋮ (④~⑥と同じ方法で操作します)

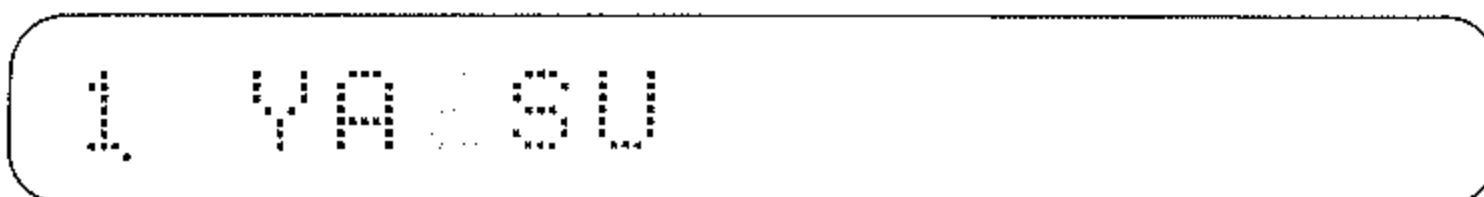




書き間違えた場合

- ⑦     スイッチを4回押します。  
(間違えた“F”の位置まで戻す操作)
- ↑  
押す


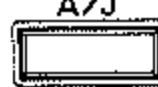


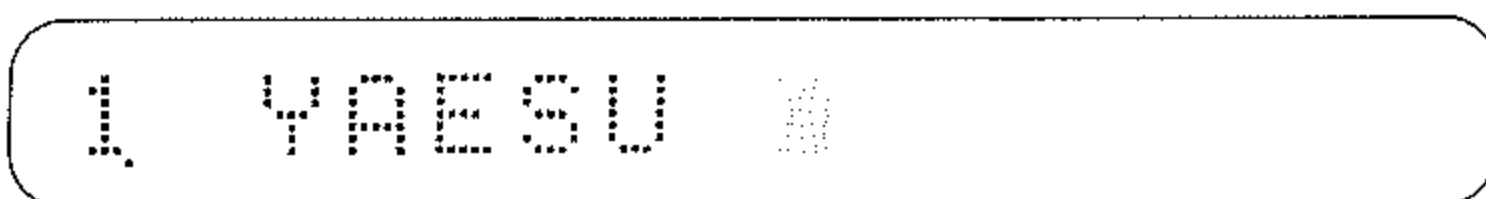
- ⑧     スイッチを1回押します。  
(“F”を“E”に直す操作)
- ↑  
押す







- ⑨   スイッチを4回押します。
- ↑  
押す





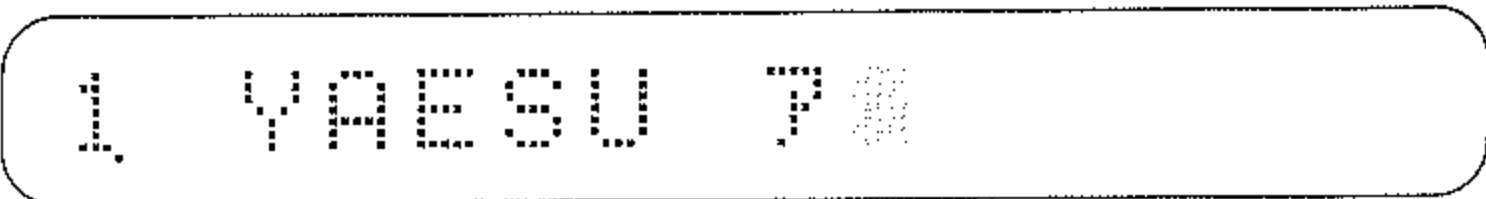
- ⑩   スイッチを押し、ASCIIコードをJISコードに変更します。
- ↑  
押す

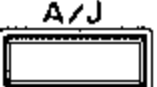
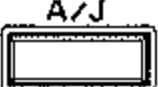


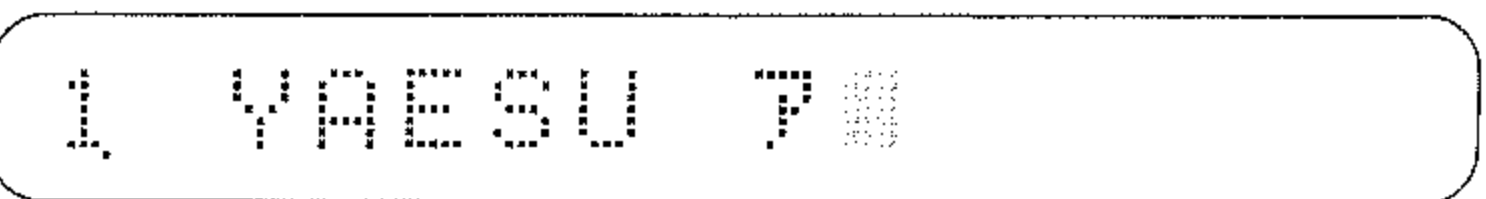
- ⑪    ,  スイッチを操作して“ア”を表示させます。
- ↑    ↑  
押す    押す






- ⑫   スイッチを1回押します。
- ↑  
押す



- ⑬   スイッチを押し。
- ↑  
押す




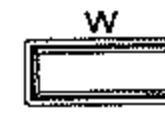



- ⑭  スイッチを操作して“マ”を表示させます。  
 押す       押す

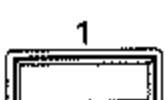



⋮ (⑩～⑭と同じ方法で操作します)



- ⑮       メッセージの打ち込みが終了しましたら  スイッチを押します。  
 押す      表示が初期状態に戻ります。



- ⑯       1CHにメッセージがメモリーされているか確認します。  
 押す



以上のような方法で、1CHにメッセージがメモリーできます。

同様に2, 3CHに指定(12ページ③)するとメモリーできます。

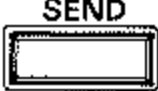

## 送信メッセージの送り出し操作

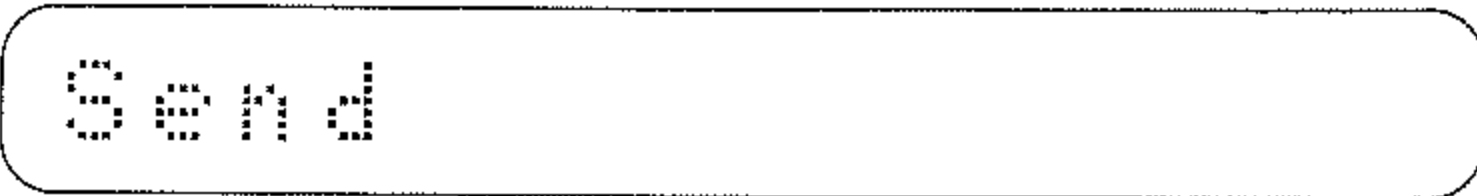
1, 2, 3 CHにメモリーしてあるメッセージを送信してみましょう。

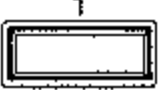
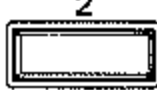
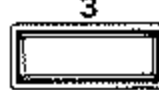

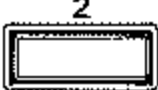
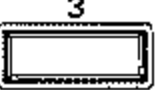
① トランシーバーの AQS スイッチを“ON”にします。

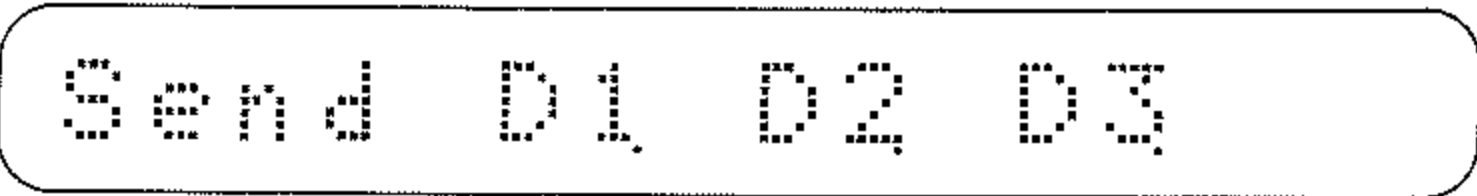
②   スイッチを押します。(初期状態)  
↑  
押す



③   スイッチを押します。ディスプレイに“Send”を表示して6桁目が点滅し“TX”のLEDが点灯します。  
↑  
押す



④     ,  ,  スイッチを押します。書き込まれていないメモリーチャンネルは受け付けません。  
↑  
押す



⑤ PTT →  “ON”   スイッチを押します。  
↑  
押す  
※ レピーターで使用する時のみマイクロホンの PTT スイッチを押し送信状態にします。

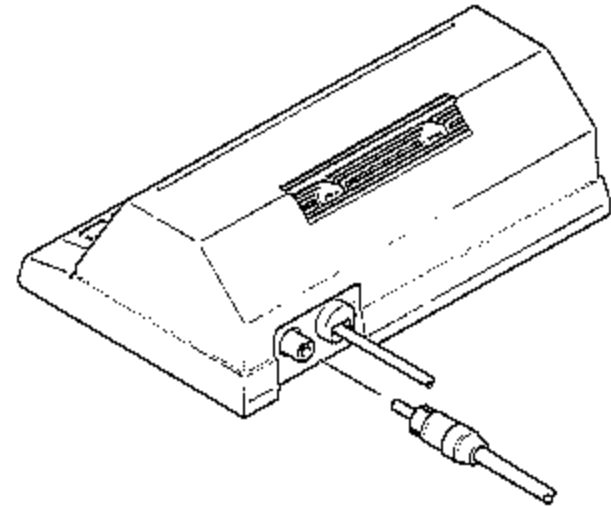
1, 2, 3の順番で送り出し“TX”LEDが消え初期状態に戻ります。



以上のような方法でメッセージを送信します。

## 外部コンピュータへのデータアウト操作



FMP-1のDATA OUT端子にインターフェース（例：FIF-232C）を通して、パーソナルコンピュータを接続します。受信したメッセージまたはコールサインの内容を4800BPSでシリアルデータアウトします。



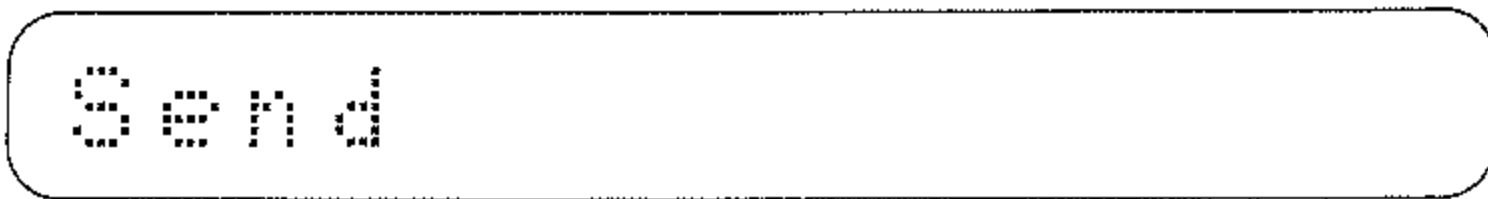
- ①   スイッチを押します。（初期状態）

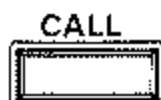
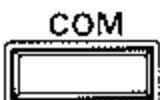
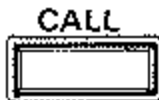

↑  
押す



- ②   スイッチを押します。ディスプレイに“Send”を表示して6桁目が点滅し“TX”のLEDが点灯します。

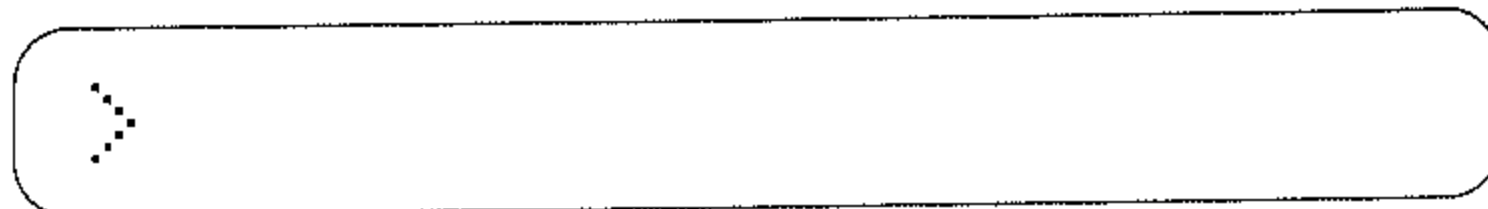
↑  
押す





- ③    または  スイッチを押します。  
データ出力が終わると“TX”LEDが消灯し、初期状態に戻ります。

↑  
押す

↑  
押す



メッセージメモリーまたはコールサインメモリーの内容が何も無いときは、COM または CALL は受けつけません。このときは  スイッチをもう一度押すか  スイッチを押して初期状態に戻します。

# 定 格

## 一 般 定 格

使 用 半 導 体	IC . . . . . 12
	トランジスタ . . . . . 9
	ダイオード . . . . . 11
電 源 電 圧	13.8V ± 15% マイナス接地
電 源 電 流	60mA (13.8V時 TYP.)
使 用 温 度 範 囲	−20℃ ~ +60℃
ケ ー ス 寸 法	幅150×高さ51×奥行95 (mm) (突起物を含まない)
本 体 重 量	約430g (バックアップ電池を含む)

## CAT 入出力部

入 力 レ ベ ル	TTLレベル
出 力 レ ベ ル	TTLレベル (オープンコレクタ)
符 号 伝 送 速 度	4800BPS

## データ出力部

出 力 レ ベ ル	TTLレベル
符 号 伝 送 速 度	4800BPS

★デザイン、定格および回路定数は改善のため予告なく変更することがあります。

★使用半導体は同等以上の性能をもつ他のものを使用することがあります。

# ご 注 意

## ■安全上の注意

- 異常と感じたときは、  
煙がでている、変な臭いがする……などの故障状態のまま使用すると危険です。すぐに電源スイッチを切り、お買い上げの販売店または最寄りの当社サービスステーションへ修理をご依頼ください。
- 水がこぼれたときは、  
セットのそばに花ビン、化粧品、薬品、飲料水など水の入った容器を置かないでください。  
万一、内部に水が入った場合には、電源スイッチを切り、お買い上げの販売店または当社サービスステーションへご相談ください。

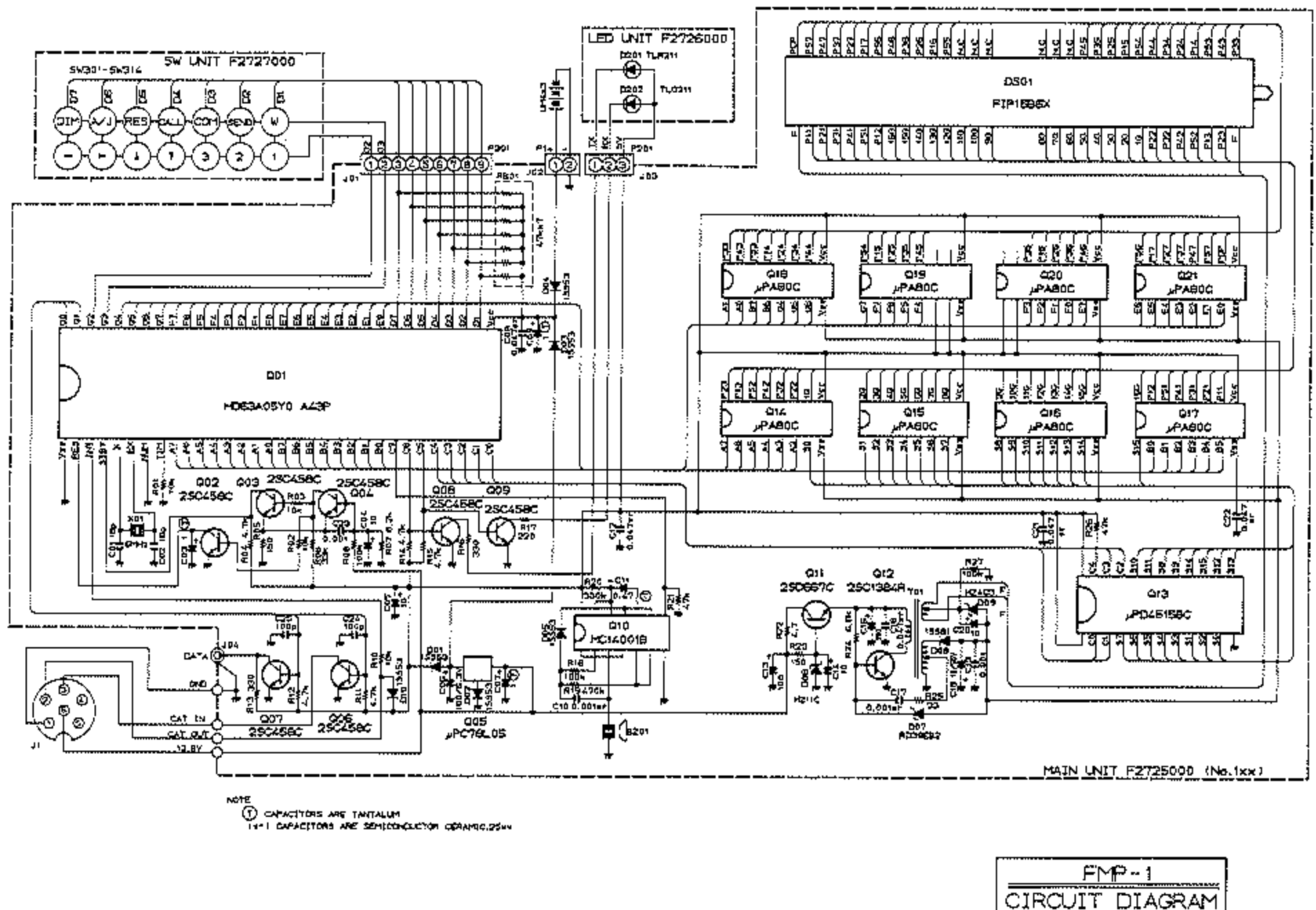
## ■取扱上の注意

- 変形、変色、熱、雑音、破損などを防止するため、次のような場所はできるだけさけてください。
  - 周囲温度が極端に高い所または極端に低い所。
  - 湿気の多い所。
  - 寒い部屋から急に暖かい部屋への移動。
  - 暖房器のそばや直射日光の当る所。
  - 不安定な所。
- ケースが汚れたら、  
中性洗剤を湿した布などで軽くふいて汚れを落とし、乾いた布でふきとります。シンナーやベンジンは使用しないでください。

# 故障?と思う前に

故障修理を依頼される前に、次のことをお確かめください。

- (1) 電源が入らない (ディスプレイに表示が点灯しない)
  - ① トランシーバーの電源スイッチは **ON** になっていますか。
  - ② トランシーバーと **FMP-1** は正しく接続してありますか。
- (2) 相手局からのメッセージおよびコールサインを受信しない。
  - ① 受信メッセージまたは、コールサインを表示していませんか。
  - ② トランシーバーと **FMP-1** は正しく接続してありますか。
- (3) **DATA OUT** 端子より出力信号が出ない。
  - ① パーソナルコンピュータとの接続に間違いはありませんか。







このセットについて、または、ほかの当社製品についてのお問い合わせは、お近くのサービスステーション宛に  
お願い致します。またその節はかならずセットの番号（本体底面にはってある名板および保証書に記入してあり  
ます）をあわせてお知らせください。なお、お手紙をいただくときは、あなたのご住所、ご氏名は忘れずお書き  
ください。

## 八 重 洲 無 線 株 式 会 社

営業本部／東京サービス	東京都大田区下丸子1-20-2	〒146 ☎03 (759)7111
東京営業所	東京都中央区八重洲1-7-7	〒103 ☎03 (271)7711
秋葉原サービス	東京都千代田区外神田3-6-1 丸山ビル	〒101 ☎03 (255)0649
大阪営業所／サービス	大阪市浪速区下寺2-6-13 五十嵐ビル	〒556 ☎06 (643)5549
名古屋営業所／サービス	名古屋市南区北頭町4-107	〒457 ☎052(612)9861
福岡営業所／サービス	福岡市博多区古門戸町8-8 吉村ビル	〒812 ☎092(271)2371
須賀川営業所／サービス	福島県須賀川市森宿字ウツロ田43	〒962 ☎0248(76)1161
札幌営業所／サービス	札幌市中央区大通り東4-4 三栄ビル	〒060 ☎011(241)3728
広島営業所／サービス	広島市中区銀山町2番6号 松本ビル5F	〒730 ☎082(249)3334
工場	東京・須賀川・福島	